

日本マイコトキシン学会第92回学術講演会（2025年1月10日：東洋大学川越キャンパス）では、学生会員の優れた口頭発表に対して、ベストプレゼンテーション賞を授与しました。(1) スライドの適切さ、(2) 発表の分かり易さ、(3) 質疑応答の適切さ、の3項目について5段階で評価した結果、以下の2名の方が授賞されました。

磯間蓮（東洋大学 理工学部）

「トリコテセン生合成における培地の初期 C/N 比の影響」

東村碧星（東京理科大学 生命システム工学科）

「*Aspergillus nidulans* におけるステリグマトシチンクラスター遺伝子 *aflS* の機能解析」



授賞式の様子：(左) 磯間蓮氏、(中央) 木村真会長、(右) 東村碧星氏